

# 【研究構想図】

【「賢くなります」学びのエリアのめざす子ども像】

自律 : 自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動する児童

協働 : あらゆる他者を尊重し、思いやりと感謝の心をもって協働する児童

【教育理念】 自立 貢献 共生 健康

【教育目標】 ・考え行動する ・役に立つ ・つながる ・きたえる

## 【児童の実態】

- ・自分に自信がもてない児童が多い。
- ・学習を自分ごとと捉えず、主体的に学ぶことに課題のある児童もいる。
- ・自分の学びを調整する姿が見られるようになってきた。

## 【教師の願い】

- ・お互いの学び方を認め合える子どもになってほしい。
- ・学びを自分ごとにして、自ら学ぶ子どもになってほしい。
- ・多様な考えを生かした学びをしてほしい。

## 【研究主題】

自ら学びをデザインする児童の育成

## 【研究仮説】

児童が自分の意見をもって学習課題や学習内容、学び方を選び、選んで学習したことを振り返って次の学びにつなげたり、自力で学んだことを友達と共有・協働しながらより良くしたりすることで、自分の成長を感じ、自信をもって次の学習にも主体的に取り組むことができるの

## 【本校のめざす子ども像】

自分で考え、自分で決め、仲間と共に高まり続ける子ども

低学年	中学年	高学年
Try! 「できた！」を自信に結び付け、 学びの土台を耕す子ども (体験・喜び)	Select! 自分に合う学習方法を選び、目 的をもって挑戦する子ども (選択・計画性の芽生え)	Determine! 強みを活かして計画を立て、より よい解決方法を創り出す子ども (根拠・修正・メタ認知)

## 【研究の手だて】

①児童が主体的に学びたくなる  
「導入」の工夫

- ・児童の心に火を点ける資料や発問の提示
- ゴールを明確にしたパフォーマンス課題の提示(見通し)

②自己選択・自己決定を可能にするための指導

- ・自力で学ぶために必要な力の明確化と環境整備、学習シート
- ・学習内容・方法・速度などを選択する機会の増加
- ・ICTの活用

③次の学びにつなげる振り返り

- ・視点の提示(学習内容・方法)
- ・児童に成長実感をもたせる教師の助言や言葉掛け
- ・単元導入と学習後の振り返りの比較

安心して思いや考えを伝え合える  
クラスの雰囲気づくり

基礎的・基本的な学習  
内容の定着

児童がクラスづくりの一員としての  
実感をもてる学級活動の充実